めいろうこどもえん　5月園だより

２０２３年度　年主題　〈ともにつむぎだす　～希望の中で～〉

0･1･2歳児５月主題「どれどれ」

月のねがい

◎神さまに守られ、それぞれのペースで園生活に慣れていく(0)
◎安心できる大人のそばに、ありのままでいられる(0)
◎草花や小さな虫を見たり触れたりする(0)
◎祈りや賛美が気持ちよく嬉しいときになる(1.2)
◎自分の周りに目が向いて関わろうとする(1.2)
◎自然の音や色に気づいて触れていく(1.2)

3･4･5歳児５月主題「動き出す」

月のねがい

◎日常生活の中で保育者や友だちと賛美し祈り、神さまを身近に感じる(3)
◎新しい環境や関わりに安心し、色々なことをやってみる(3)
◎自然の中で心を解放し、心地よさを感じながら動き出す(3)
◎祈りや聖書の話、賛美を大切にし、神さまがいつも一緒にいて下さることを喜ぶ(4.5)
◎やってみたい遊びに自分から動き出し心を向ける中で、友達や保育者と共に過ごすことを喜ぶ(4.5)
◎身近な自然(光･風･水･泥･土･草花･虫等)を心地よく感じ、見たり、触れたり、試したりする(4.5)

今月の聖句　「新しい歌を主に向かって歌え。全地よ、主に向かって歌え。」

詩篇９６：１

私たちの生活の中には、ありとあらゆるところに音楽が存在しています。スマホの目覚ましタイマーで好きな音楽を流す人もいるでしょう。食事中にテレビをつけると必ず何らかの音楽が流れます。仕事中BGMを流して集中力を高める。寝床でも軽音楽を聴きながら眠りに入る場合もあるでしょう。そのように私たちは音楽に囲まれて生きています。

音楽は私たちの身体に影響を与えます。音楽のリズムに合わせて、自然と身体が動き出します。また、身体だけではなく、音楽は心にも大きな影響を与えます。心地よい音楽を聴いていると心が落ち着く、いらいらしているときでも好きな音楽を聴いたり、歌ったりするとリラックスできることもあります。さらに、音楽は社会性を生み出します。一緒に歌う時には声を合わせ、楽器を奏でる時にもタイミングを計ります。このように音楽は人間に様々な影響を与えるものですが、それを利用して理想的な空間を作り上げることも可能です。「マスキング効果」と呼ばれるものです。

聖書の詩篇という書物は、人々が様々な局面で作り上げた歌を集めたものです。詩篇９６篇の歌は、イスラエルの民が国を再建する時に、民が讃美したものでした。心身を鼓舞し、民の中に社会的調和を生み、理想的な空間を作り上げるマスキング効果をもたらしたのです。こども園でも子どもたちが元気に歌を歌います。そこにも同じような効果があるのです。「新しい歌を主に向かって歌え。全地よ、主に向かって歌え。」

協力牧師　池田基宣

５月の行事予定

６日（土）	弁当日
９～19日	家庭訪問・新学期面談
１１日（木）	４・５月誕生会
15～19日	フリー参観
１６日（火）	交通安全教室
１７日（水）	弁当日
２０日（土）	職員研修(不審者対応)
２２日（月）	内科健診
２７日（土）	役員会(10:00~)

６月の行事予定

３日（土）	職員研修（熊毛地区）
〃	弁当日
１５日（木）	６・７月誕生会
２１日（水）	歯科健診
２４日（土）	夏まつり実行委員会(11:00~)

あじさいぐみ～カニさんみつけ！

～田植え～

もぐみ～絵本

～フリー参観～

～交通安全教室～

～内科検診～

～誕生会～

それぞれのスタートで・・！

新年度がスタートして、早1か月が立ちました。保育室や先生たちに少しずつ慣れてきたようです。その証拠に泣き声の代わりに、笑い声やニコニコ笑顔が増えてきました。嬉しい限りです。

昨年度の卒園生も小学生になり、みんなどうしているかな･･？と気になっていたところ、学校の帰り道に卒園生が歩いていました。なにか飲み物のようなものを持って歩いていました。不思議に思い保護者の方に聞いてみると、落ちていたから拾ったのだとのこと！。ほんの1か月前までは送迎をしていた卒園生がすっかり逞しく感じました。また、先日卒園生のお母さんにも会いました。学校に楽しんで通っているとのことで、放課後の学童保育も楽しみにしていることを教えてくれました。

新しい環境に踏み込むのは大人でもかなりのエネルギーを使います。子どもたちは、大人より順応性があるとはいえ、やはり同じぐらいエネルギーを使っていることでしょう。しかし、新しい環境になっても楽しみを探し、自分の居場所を見つけている子どもたちに改めて生命力の凄さを感じずにはいられません。でも、まだ新しい環境に戸惑いを感じている子もいますし、2歳児のクラスでは「赤ちゃん組さんに帰りたい！」という子もいます。そんな子どもたちの思いにも寄り添いながら、少しずつ新しい場所に慣れていってほしいと願うばかりです。

さて！あっという間に5月になりました。少し背伸びして園にきている子どもたちなので、疲れもでてくる頃かと思います。息抜きもしながら、5月も元気に過ごせたらと思います。

森山

あそびはまなび

枝いっぱいに芽吹いた新緑の間から、優しい木漏れ日が園庭に注いでいます。センダンの薄紫の花が雪のように舞い散り、木々の薫りが園庭を包んでいます。可憐な花々が、美しい彩りを添えて微笑んでいるようです。肌寒い朝と夏のような日中との体温調整が難しい季節でもあります。今年も川沿いにはホタルが顔を見せてくれるでしょうか。

新年度を迎えて、あっという間に三週間が過ぎました。玄関での泣き声もずいぶん少なくなり、少しずつ自分の居場所を見つけ始めた子どもたち。周囲の様子を観察しつつ、一日の流れや約束事を理解し始めています。周囲の子どもたちのことにも関心が向き、関わりも高まってくるでしょう。それに伴い、自己主張の衝突も出てくるということになります。いつも仲良く遊んで欲しいと大人は願いますが、様々な心の葛藤や交流を経て、互いを認め合う関係になっていくのを見守ることも大切ですね。何よりも保護者の皆さんが、お子さんのありのままをしっかり受け止めてくださる安全基地であることです。「泣いてもいいんだよ！」「いっぱいあそんでおいで！」それが見えない根を支える大地なのです。

幼児期の教育・保育は、自発的で主体的な活動である「遊び」から得た様々な経験を通じて、「生きる力の基礎を培う」ことを目的としています。夢中になって遊ぶ中で友だちとのトラブルや葛藤を体験し、挫折感や成功感を味わいます。遊びを考え、工夫し、試行し、協力し合います。自然溢れる空間、ゆったり流れる時間、そして感動を共感できる友だち、都市部では少なくなってしまったこの三間こそ遊びの大切な環境といえるでしょう。「遊び」こそがこの時期の「学び」なのです。一人ひとりの子どもたちの健全な成長を願うならば、質の高い「遊び」を担保しなければなりません。保育の中の「遊び」とは、①自分からすること(自発性)②満足するまですること(自己完結性)③楽しいと感じる喜び(自己報酬性)に定義されるようです。しかし、これだけでは、一日中スマホゲームに没頭することも当てはまってしまうので、他の要素も必要です。それが大人の援助です。子どもたちの遊びは、主体的であるが故に、パターン化し停滞しがちです。そこで新しい風を吹き込み、より面白さが増すプロセスが重要になってきます。保育者の最大の存在意義がここにあるわけです。遊びは、「休み時間」の遊びではなく、保育の中核であり、その質を高めることが子どもの発達に大きく関わるということを常に覚えながら精進していきたいと思います。

子どもによっては、そろそろ疲れが出始める頃です。連休をご家族で楽しまれながら、どうぞ十分な休養もお願いしたいと思います。コロナもまだまだ注意が必要ですが、梅雨時を元気に乗り越えるためにも、毎日の変化に応じた対応や食事・睡眠に留意し、保護者の皆様のご協力をいただきながら楽しい園生活を支えていきたいと思います。

園長

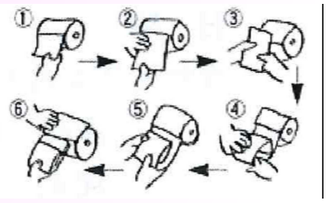
『うんちが出たよ～！』

ある日、トイレから「うんちが出たよ～!」と、４歳児のＡくんの大きな声がしました。Ａくんは排便があったことを知らせ、後始末を頼みたかったようでした。気付いた保育者が、「お尻拭いたの？」と訪ねると、「まだだよ!（拭いてね）」と言いながら排便の後始末をしてもらっていました。

さて、排泄の自立は、何歳になったら出来るのでしょうか。子どもたちを見ていると、やはり個人差はあるものの、初めのうちは大人の力をかりてやってもらい、３、４歳になってきたら排便の後始末を親（大人）から教えてもらい、自分で出来るようになるもののようです。

Ａくんのお母さんにお家での様子を聞いてみたところ、いつも排便をしたら家中に聞えるくらいの大きな声でお母さんを呼び、拭いてもらうとのことでした。ある時、「自分で拭く練習をしよう！」とトイレで教えながら見ていたところ、ペーパーを手に取り、お尻を拭いて「何回拭くの？」と聞いてきたきたので、「紙にうんちが付いていなかったらいいよ」と教えると、１回拭いて、２回拭いて、３回・・・、便器にペーパーがあふれそうになりました。

「紙がなくなるよ！」と言って、今度はペーパーのたたみ方も一緒に教えていったとのことでした。なかなか簡単にはいかないものですが、何回かしてやっていくうちに自立に繋がっていくのでしょう。



心地よい生活を過ごしていくためには、子どもたちの発達段階に合わせ、タイミングを見計らい生活に必要なしつけを丁寧に教えていくことが大切になってきます。保護者の方も仕事や家事に追われてお忙しいこととは思いますが、ここはと言う時には子どもの様子をじっくり見て、じっくり付き合い、丁寧に教えていただけたらと思います。はじめに時間を充分取ることで、子どもたちの自立に繋がって行くことと思います。

保護者の方々にも、子育てを通していろいろなエピソードが生まれてきているのではないでしょうか。子育ての物語は素晴らしい宝物です。お迎えの時やコドモンでも、ご家庭のエピソードを教えて下さいね。心からお待ちしています。

圖師　愛